



第63期中間報告書

平成23年4月1日から
平成23年9月30日まで

株式会社鳥羽洋行

証券コード:7472

株主名簿管理人

中央三井信託銀行株式会社

事務取扱所

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

01 OPEN

トップメッセージはこちらから。

[ご注意] 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください。



取締役社長

三浦 直行

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第63期中間期(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期における内外経済を概観いたしますと、欧州におきましては、ギリシャの債務問題が深刻化したことにより、ユーロ圏諸国の財政及び金融システムが著しく不安定な状態に陥っております。また、米国におきましても、財政赤字問題が米国債の格下げにまで発展しており、これまで堅調を維持していた米国並びに欧州の経済に後退懸念が強まってきております。一方、先進国向けの堅調な輸出に支えられて、世界経済を牽引してきたアジア諸国をはじめとした新興国におきましては、インフレ懸念に対応した政策金利引き上げの動きが広まり、新興国の経済成長率も次第に鈍化しており、世界景気全体が後退基調となっております。

わが国の経済におきましては、平成23年3月11日に発生した東日本大震災によるサプライチェーンの崩壊及び電力の供給不足問題等の影響で、生産活動における混乱の長期化が懸念されましたが、その後の急速なサプライチェーンの復旧並びに好調な外需に支えられて、回復基調を取り戻しました。しかし、長期化しつつある歴

売上高**9,785百万円****経常利益****616百万円****中間純利益****355百万円**

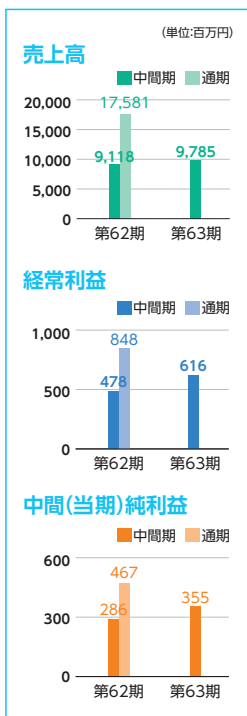
史的な円高が輸出産業の業績を直撃するとともに、第2四半期に入ってから、欧米経済の減速懸念及び新興国経済の成長速度の鈍化が鮮明になるにつれ、景気の先行きに対して大きな不安要因を抱えるに至っております。

このような経済状況の中で当社は、好調な需要が続くスマートフォン、タブレットPC等に関連するメーカー、また、半導体・液晶パネル製造装置等を製造するメーカー等の設備投資向けの制御機器及びFA機器を中心とした部材の販売推進、さらには東日本大震災後の新車販売の復活とともに、設備投資需要の復活の兆しが見えてきた自動車・車載部品等のメーカーが求める自動化並びに省力化のためのFA機器等の販売推進を行うとともに、今まで続けてきた新たな得意先の開拓も並行して積極的に推進してまいりました。また、管理面におきましては、以前から推進してきました経費削減並びに社員教育等の充実も進めてまいりました。

以上の結果、売上高は97億85百万円(前年同期比7.3%増)となり、営業利益は5億62百万円(前年同期比31.8%増)、経常利益は6億16百万円(前年同期比28.8%増)、中間純利益は3億55百万円(前年同期比23.9%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月

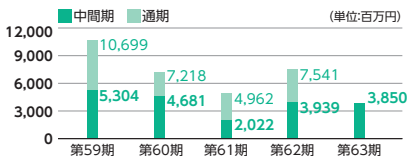


取扱商品別

制御機器

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

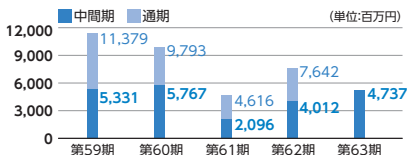
当中間期は、OA機器並びにスマートフォン等に関連するデジタル機器メーカーからの需要が好調でしたが、半導体製造装置等を製造する得意先の需要が伸び悩んだため、売上高は前年同期比2.3%減の38億50百万円となりました。



FA機器

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布等で構成されており、主としてデジタル機器、基板実装機、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

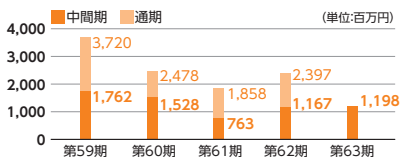
当中間期は、スマートフォンに関連する得意先における省力化のための設備投資需要が旺盛であったこと、及び新車販売の復活とともに自動車・車載部品等に関連する得意先における自動化のための産業用ロボットの需要が加わったため、売上高は前年同期比18.1%増の47億37百万円となりました。



産業機器

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当中間期は、デジタル機器等の得意先向けに電動ドライバーが好調であったことに加えて、自動車・車載部品に関連する得意先からのネジ締め装置等の需要が復活したため、売上高は前年同期比2.6%増の11億98百万円となりました。なお、当部門における溶射(高機能皮膜)並びに省エネ精密空調機器は、確実に需要が伸びてきております。

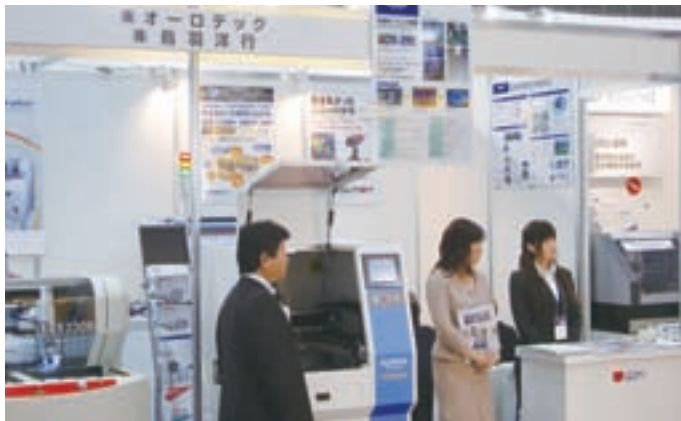


さらに詳細なIR情報は、こちらからご覧ください

▶ 株主・投資家ウェブサイト <http://ir.toba.co.jp/index.html>

トピックス

『JPCA Show 2011』に出展しました。



当社は、本年6月に東京ビッグサイトで開催されました社団法人日本電子回路工業会主催の「JPCA Show 2011」に出展しました。このエレクトロニクスショーは、半導体、プリント配線板、最先端実装などの電子回路製造に従事する日本の最先端技術を有する企業が出展する展示会であり、海外からも多数の見学者が来場しています。

当社もこの展示会にAUROTEK社製基板分割機他の商品を出展しました。商談を通じて、将来の大きなビジネスチャンスが期待できます。



AUROTEK社 基板分割機

会社概要

- 社名 株式会社 鳥羽洋行(英文表記 TOBA,INC.)
- 本社 東京都文京区水道二丁目8番6号
- 設立 昭和24年12月14日
(創業:明治39年9月15日)
- 資本金 11億4,800万円
- 事業内容 制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出入。
上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出入。
- 従業員数 206名(男性:147名 女性:59名) (平成23年9月30日現在)
- URL <http://www.toba.co.jp/>



株式
会社

鳥羽洋行